

答申（素案）に関する意見及び対応について

資料 3

No.	ページ	委員からの主な意見	対応	発言者	会議
1	1	「はじめに」の2段落目の建議書の正式なタイトルと発行日を明確に記載した方がよい。	正式なタイトルと発行日を追記しました。	山本委員	起草委員会 (1/30)
2	4	文部科学省の「令和6年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査」は令和7年度版が公表されている。数字等を更新すべきである。	令和7年度の数字に更新しました。	山本委員	起草委員会 (1/30)
3	10	「2 推進員の選出方法」について、学校や地域の判断を尊重しつつ、適切な選出が行われるよう、地域の実情に応じた柔軟な対応を求める記述を追記すべきである。	1行目に「地域や学校の実情を踏まえ、」という文言を追記しました。	加藤委員	起草委員会 (1/30)
4	11	「5 推進員の活動時間」に記載されている調査について、6ページに掲載されているアンケートとは別に行ったアンケートの結果であるということを記載しておかないと、読み手が混乱してしまうのではないか。	「茅ヶ崎寒川地区小学校教頭会」に調査を行ったことが具体的に分かるように記載を修正しました。	山本委員	臨時会 (10/24)
5	11	「想定される活動に対する平均活動時間」のグラフについて、各アンケート項目に対しての平均値が示されているが、学校によって回答された数字にばらつきがあるので、平均値とともに最小値と最大値を追記すると、学校によってそれだけの幅があるということを理解してもらえないのではないか。	「想定される活動に対する平均活動時間（時間/月）」のグラフについて、最大値と最小値を追記しました。	宮下委員	臨時会 (10/24)
6	11	当初行った「茅ヶ崎市における地域学校協働活動の推進に向けたアンケート調査」と、追加で行った「茅ヶ崎寒川地区小学校教頭会」へのアンケート調査では、必要だと考える推進員の活動時間に差がある。その要因（制度への理解浸透や調査方法の違いなど）を補足すべきではないか。	「(1) 学校が求める地域学校協働活動の時間」に活動時間が増えた要因を追記しました。	宮下委員	起草委員会 (1/30)
7	資料	(答申作成の流れ) ・ 1月30日の第6回起草委員会を追加すべきである。 ・ 第2回定例会の日付が誤記である。	ご指摘いただいた事項について、追記・修正しました。	加藤委員	起草委員会 (1/30)
8	全般	答申に掲載されている横棒グラフについて、時間などの指標がない横棒グラフについては、数字の大きい順に並んでいた方が、視覚的に見やすく理解度が得られやすいのではないか。	各ページのグラフについて、時間軸になっているグラフ以外のグラフについては、数値が大きい順に並び替えました。	深井委員	臨時会 (10/24)

No.	ページ	委員からの主な意見	対応	発言者	会議
9	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問に対して社会教育委員の結論がまず始めにわかるようにすべきではないか。 ・ 構成は変えられなくとも、結論部分を四角で囲う、太字にするなどで強調して、結論が分かるような書き方をするのがよい。 	<p>答申の鏡文に、社会教育委員としての結論を示した文章を記載するようにし、調査研究の詳細はこれまで作成した素案を別紙として添付する形にしました。</p>	<p>深井委員 山本委員</p>	<p>臨時会 (10/24)</p>
10	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2の「地域学校協働活動推進員の配置を最優先に進めるべき」という文言を、四角囲みや太字にするなど、より強調したほうがよい。 ・ インパクトを重視し、まず結論を冒頭に持ってくるのはどうか。 	<p>四角囲みで「推進員の配置を最優先に進める」という結論を明記し、その後に説明文が続く形に修正しました。</p>	<p>各委員</p>	<p>起草委員会 (1/30)</p>
11	全般	<p>教育委員会定例会の場で答申を正式に提出し、教育委員会の議事録に残るような形をとるべきではないか。</p>	<p>3月19日(木)の教育委員会定例会に委員にご出席いただき、答申を提出する形で教育総務課と調整しています。</p>	<p>山本委員</p>	<p>臨時会 (10/24)</p>